

日の里HPの特徴 まちづくり委員会Q&A(案)

HP協力員TM

[資料構成]

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 当資料の目的 | 6. 日の里HP／まちづくり委員会Q&A |
| 2. 日の里HPの位置づけ | 7. 補足 |
| 3. 日の里HP開発の考え方、基本情報(要素項目) | <参考資料> |
| 4. 日の里HPの“制御ソフト“の選択(比較検討) | A. 日の里HPのメニュー構成(イメージ) |
| 5. 日の里HPの特徴 | B. 町内会単位の情報が見難い、どうすればよい? |

注) 当資料は、広報部会長と簡単な擦り合わせを行い、その結果を反映しました、今現在、広報部会の正式文書ではありません。
敬語、謙譲語などの配慮はできていません、不適切な文言や表現が存在するかも知れません、ご了解ください。

1. 当資料の目的

(1) 目的

日の里HPは、平成16年、市のパイロット事業として、協議会がその開発の役割を担い、“住民参加型のまちづくり”を目的として製作したHP。このため、市町村や企業など一般的なHPとは、かなり異なった特徴がある。過去、広報部会は全体会議等の意見を基に、日の里HPに必要とされる各種改善を行い現在に至っている。一方、ここ最近、協議会や町内会の情報通信技術に堪能な方々による、HPに関する“核心的”な質問が徐々に増えてきた。このような状況のもと、今般、まちづくり委員会から“日の里HPに関する質問”を得た、これを機会に多少、“まちづくり”との関連性を含め回答案(議論のたたき台)を作成した。それぞれの立場から十分意見を出し合い、実効性のある解決策に繋げたい。

(2) “回答”の範囲、考え方

日の里の“まちづくり”(目的)と日の里HP(道具)は、車の両輪、表裏一体の関係にある、日の里HPを単独で議論するより、“まちづくり”の進め方など、一体化した議論の方が、期待する結論に近づき、相乗効果が得られ易いと思われる。そこで、新たな視点で日の里HP誕生から、現在に至る、“基本情報や付帯情報”を、過去に遡及し、回答の範囲として加えた。

2. 日の里HPの位置づけ

日の里HPの開発・立上げの平成16年度前後は、協議会の“組織改定”及び、“日の里まちづくり計画”策定のワークショップの開催時期とも重複した。このため、まちづくりの機運が高まり、日の里HPを、協議会の住民参加型のまちづくりの道具と位置づけ“新しいまちづくりモデルの構築”を目標の一つに掲げた。

3. 日の里HP開発の考え方、基本情報(まちづくりの要素項目)

* 今後の、日の里HPの活用や改善及び、“住民参加型のまちづくり”の取組に関わる要素項目

項目	特記事項(日の里の地域特性)など
①協議会の規約、事業計画	協議会の目的や事業、年度事業(活動)計画
②協議会の組織体制 基本的考え方、特徴など	平成15年度末組織改定 ⇒ 部会、委員会のスリム化、協議会と町内会、各種団体との連結連動 住民－町内会－協議会が一直線につながり、双方の情報の流れが円滑、住民はまちづくりの当事者 ★日の里HP:> HOME > 組織・団体の文書 > 協議会の情報公開 > まちづくり委員会 >> 平成16年度コミュニティ運営協議会の組織改定
③第1次日の里 まちづくり計画	平成16年度末 ⇒ 住民ニーズの日の里まちづくり計画の策定 ★日の里HP: 組織・団体の文書 > 協議会の情報公開 > まちづくり委員会 >> 平成16年度まちづくり計画作成委員会まとめ
④日の里広報紙	日の里のまちの姿、地域特性、地域社会の情報の種類や内容の傾向などの把握
⑤日の里HPの考え方	平成16年度 ⇒ 前①～④項の情報を基に、日の里HPの目的、目標を設定、そしてメニュー構成を作成 ★日の里HP: 組織・団体の文書 > 広報ひのさと > 日の里HPの歴史 >> 日の里ホームページの歴史

<参考情報>平成27年～36年度の「第2次宗像市コミュニティ基本構想・基本計画(案)」⇒ 国や宗像市の考え方を知る。

[宗像市HP](#) > [観光・産業・まちづくり](#) > [まちづくり](#) > [コミュニティ](#) > [第2次宗像市コミュニティ基本構想・基本計画](#)

4. 日の里HPの“制御ソフト“の選択 * H16年8月時点

(1) 検討の前提: 市のパイロット事業、協議会の情報公開等が主目的、予算の枠内。将来、他の10の協議会へ横展開。検討期間は4ヶ月など

(2) 日の里HPの位置づけ・目的・目標など: 協議会の“住民参加型まちづくり”の道具。地域住民の情報交換、域内外への情報発信。

情報通信技術(ICT)を活用した、住民主体・地域主導の新しい形のまちづくりモデルの構築(目標)

(3) “HP制御ソフト“の選択のポイント: 協議会のまちづくりを目的としたHPは”前例がない“、日の里HPの”住民参加型まちづくりの本格運用までには様々な変化が予想される、このため保守性や拡張性も重視する。

(4) “HP制御ソフト“の比較検討案 * 市が提示した以下の3案から、A案を採択した。

比較項目	A案: 現行日の里HP	評価	B案: 市町村や企業などの一般型HP	評価	C案: A、B案の中間案
(1)メニュー構成	①サイトマップの構成をそのままメニュー画面に利用、階層構造型のメニュー構成(シンプル構造) ②慣れると地域社会の姿を“体系的”に把握し易い	○	①サイトマップの構造はA案とほぼ同等 ②メニュー画面はA案より、設計上の自由度が高く、見栄えが良く、分かり易い	◎	以下省略
(2)投稿に必要な技術、特長	①投稿は、パソコンの無料ソフト(ブラウザ)を利用、電子メール送信の技術でHP投稿が可能 ②PDFを併用すると写真が多用できる	◎	①HP投稿パソコンには専用ソフトの導入及び、その利用技術が必要	△	
(3)投稿する人、費用	①投稿は、住民及び組織団体の担当者 ②投稿が増えても費用は発生しない	◎	①投稿は、事業者又は、事務局など専門職このため何らかの費用が発生する * 投稿件数拡大と費用発生 of ジレンマ	×	
(4)保守性	①小分類メニューの追加・変更は協議会で可能				
(5)拡張性	①将来に備え予備の小メニューを多数確保 ②外部HPへリンクが可能	○	(未確認)	—	
(6)移植性	他の10コミュニティ協議会への横展開が容易	◎	A案に比べ各協議会の作業負荷が大	△	
総合評価	予め設定したHPの目的・目標に合致し、必要な“まちづくり”機能を具備、市のパイロット事業の要件を確保	◎	まちづくりを目的としたHPではA案が有利	△	

(5) 所見

①市がパイロット事業の前提として示した“協議会の情報公開”が主目的であれば、投稿件数は少なく、B案でも支障は生じない。

②A案(現行日の里HP)は、メニュー画面に写真や文言を追加、変更しないことを“設計思想”としている。(ソフトの仕様変更時は費用が発生)

5. 日の里HPの特徴

◇人口約12000人、世帯数約5400の協議会(日の里住民)が保有する、“まちづくり”を目的としたHP

項目	特徴	課題、特記事項など
全般	<ul style="list-style-type: none"> ①市(行政)が認知した、日の里地区コミュニティの公式HP、協議会が所有 ②住民参加型の“まちづくり”を目的としたHP、必要とする機能を概ね具備している ③“HP制御ソフト”変更の自由度は低い。(特にHPの見栄え⇒変更に費用が発生) 	<ul style="list-style-type: none"> ①まちづくり委員会の、まちづくり実行計画にHP活用と意義と必要性を明示し、具体的なHPの活用方案を織込む。今後10年、“住民参加型の”まちづくり”にはHPの活用は不可欠 ②日の里HP”と“Facebook、YouTube”などソーシャルメディアとの“連携、活用”による、HPの“まちづくり機能“の拡張を目指す
(1)メニュー構成	<ul style="list-style-type: none"> ①地域のHPとして必要なメニュー項目(カテゴリー)は概ね組込まれている ②メニュー構成は“階層構造”、サイトマップの項目をそのままメニュー画面に表示 	<ul style="list-style-type: none"> ①“まちづくり”の進展に応じたメニュー構成の見直し改善 小分類メニューのみの追加変更(簡単にできる) ②日の里HPは一般的なHPに比べ、シンプル構造
(2)HPの投稿	<ul style="list-style-type: none"> ①住民1人ひとりがHP投稿を通じて、まちづくりに参加できる。 ②住民がHP利活用の当事者 ③情報の発生個所での入力(個人、団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ①「HPの活用と必要性」の啓発活動を「トップダウン」で進める。 ②HP投稿者の裾野を広げる。 ③HPの“記事集め”と投稿作業を分業体制で進める。
(3)投稿の難易度	<ul style="list-style-type: none"> ①電子メール送信の技術でHP投稿が可能 	
(4)メッセージ性	<ul style="list-style-type: none"> ①写真を多用すれば投稿者のメッセージは読み手に十分伝わる(最大35枚程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ①写真の利用例 ⇒日の里HP >趣味・遊び・学び >> アウトドア・登山「SUN 愛 MUNAKATA 十坊山」など

日の里HPの特徴(つづき)

項目	特徴	課題、特記事項など
(5)保守性	①小分類メニューの追加変更は簡単に可能 ②目的や目標を基に、HPの事前の試行・評価(試行錯誤)が可能 ③“HP制御ソフト”の変更の実現性は低い(費用が発生)	情報通信技術の活用は今後の“まちづくり”の要件、住民参加型のHPの活用は“未知の分野”、試行錯誤は必要、以下参考 ①まず、まちづくり委員会で小分類メニューを新設し、委員会の活動の効率化、活動の質の向上、見える化を実践 ②「住民参加型のまちづくりモデル」を試行する。例えば、
(6)経済性	①HPの投稿や小分類メニューの追加変更時、費用は発生しない	事業案件：日の里の紹介を Facebook、住民参加型で試作 (a) 計画案の策定⇒実行⇒評価を“見える化”で進める。 HPで公開し、委員会・広報部会⇔町内会、各種団体⇔住民のキャチボールで“目標”の質を高める(住民の知恵の活用) (b) 他の性格の異なる“分かり易い事業案件”でも試行する。 (c) 成功事例を順次、横展開、住民をプレイヤーとした“まちづくり”の体験を積む、そして“まちづくり”の将来展望に繋ぐ
(7)拡張性	①小分類メニューから外部リンクが可能	①今後、“Facebook や YouTube などとの連携”により、日の里HPの有用性を高める余地がある(同上例) 日の里の紹介や日の里まつりなど、“Facebook で試作

6. 日の里HP／まちづくり委員会Q&A

* 質問欄は、まちづくり委員会の質問を基に、一部集約、回答欄は私見を含む議論のたたき台)

質問	回答(見解、意見、提案など、議論のたたき台)
<p>(1) 日の里HPは、他の一般的なHPに比べ、全体的に、特異で分かり難い、何故か</p>	<p>① 日の里HPは、協議会の“まちづくり”を推進するために開発された公式HP。 10年以上前、市のパイロット事業として、市から提示された3案の中から、“1人ひとりの住民が簡単に投稿できる機能”などを重視し、現行HP(A案)を採択した。</p> <p>② 現行HPは、一般的なHP(B案)に比べ、“総合的なまちづくり機能の視点”では、有意差があると判断した。</p> <p>☆ 日の里HPは、地域特性などを勘案して、一般的なHPとは別の道を選択した。</p> <p>【別紙参照／日の里HPの“制御ソフト”の選択】</p> <p>③ 当件に関し、今現在、実現性、実効性のある改善案は提示されていない。</p>
<p>(2) トップ画面や大・中・小分類のメニュー画面が分かり難い、何故か</p>	<p>① 日の里HPはサイトマップ(階層型)をそのままメニュー画面に反映したシンプル構造</p> <p>② このため、トップ画面や大・中・小分類メニュー画面の全体構成は固定様式のため変更は、難点がある。(ソフト変更にかかなりの費用が発生)</p> <p>(当件に関し、実現性、実効性のある改善案は提示されていない)</p> <p>大・中・小分類メニューの文言の変更は可能(大・中分類は若干の費用が発生)</p> <p>③ メニュー構成は、協議会の目的、組織体制、活動状況及び、HPの目的・目標を予め設定し、それらを総合勘案して確定した。(本番以降、見直し改善を実施)</p> <p>☆ HP開発当時の関連資料を参照するとメニュー構成の理解が進むかと思われる。</p> <p>【別紙参照／日の里HP開発の基本情報(要素項目)や考え方】</p>

質問	回答(見解、意見、提案など、議論のたたき台)
(3)日の里HPのトップ画面に投稿写真を使えないか	<p>①日の里HPのトップ画面に投稿写真を表示する“ソフトの変更“は、仕組み的(設計思想のシンプル構造と矛盾)に無理がある。(かなりの費用負担が必要)</p> <p>②仮に、費用負担が少ない場合でも、日常的にHPを利用する場合、実際に写真がある方が良いか否かは十分吟味する必要があると思う。例えば、新規のHP利用者が慣れてくると、写真は無意味に思えるかも知れない。(利用者は住民)</p>
(4)日の里HPの投稿された画面は、文字や写真が小さく、見栄えも良くない、大きくできないか	<p>①日の里HPの投稿者は、電子メールの送信技術を利用して投稿している、“HP制御ソフト”は、電子メールイメージの写真や文字をそのまま画面表示するため、サイズの変更は原理的に無理。HPの利用者自身が閲覧時、必要に応じてパソコン画面で拡大するようにしている。⇒写真をダブルクリックすると拡大する。</p> <p>②日の里HPの機能を補完するため、外部リンクの機能がある。 今後、この外部リンク機能を活用して、各種行事、趣味・学び、サークル活動などを、分かり易くの伝えることが可能となる。 以下の利用事例(パター)を参考に、いろいろ試してはどうか。 (a)外部リンク／一般的HPへ(例) 日の里HP> HOME > 趣味・学び > 趣味・遊び・学び > アウトドア・登山 >> SNN 愛 MUNAKATA「福万山」 の[関連リンク]</p> <p>(b)外部リンク／フェイスブック</p> <p>(c)外部リンク／ユーチューブ</p> <p>③日の里まつり及び、日の里の紹介を、外部リンク／フェイスブックで試作し横展化</p>

質問	回答(見解、意見、提案など、議論のたたき台)
<p>(5) 日の里HPには、なぜ空のメニューが多いのか、消去しないのか</p> <p>◇HPがある事すら知らない、口コミなどで、どんどん伝える。</p>	<p>日の里HPの利用は、日の里広報紙や広報部会全体会議で各組織・団体に呼び掛けているが、ここ数年、マンネリ化し進展していない。原因の一つは、協議会の“従来型の活動範囲”では、多くの住民は、日の里HPへの投稿の必要性を感じていないと考えられる。今後、以下の手順で「トップダウンのHP啓発活動」を実施すれば、投稿件数及び、閲覧件数の増加が期待でき、結果的に空きメニューの解消につながる可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①協議会が「今後10年に向け、“日の里まちづくり計画”に基づく“まちづくり”の本格的な取組を開始する旨、“明確なメッセージ”を各組織・団体・住民に発信する。 ②“住民参加型のまちづくりは“全国的にも未知の分野”、これを実現する手段として、日の里HPの活用が不可欠であること(意義と必要性)を“明確なメッセージ”として、役員会、まちづくり委員会から住民へ発信する。 ③これに呼応して、広報部会と部会員は、当該組織(町内会や各種団体)のHPの普及活動に取り組む。 ④「日の里HPの活用の意義と必要性」に関して、多くの住民の賛同が得られれば、文化、スポーツ団体を含め、全体としてHP投稿は進むと思われる。 (日の里の地域特性、“輪になれ日の里”の地域力を期待) ⑤HPの普及活動の結果、空メニューがあれば、当該組織・団体の了解を得て消去
<p>(6) 楽しいHPの投稿</p> <p>◇日の里内、外の方に見てもらえるHPを、日の里に住みたいと思うHPを</p> <p>◇面白くない、遊びがあると、楽しいHPを</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①日の里HPは、専任の投稿者はいない、1人ひとりの住民が投稿の役割を担っている、多くの人に声をかけ、是非、投稿を始めて頂きたい。 *ID、パスワードは、コミセン事務局で簡単な手続きで入手できる。

質問	回答(見解、意見、提案など、議論のたたき台)
<p>(7)HPのメニューの開設</p> <p>◇子どもの誕生日や、夫婦の記念写真が投稿できると良い</p> <p>◇日の里地区の分かり易いマップの作成 (学校、病院、公園など)</p> <p>◇健康のためにお散歩MAP (時間毎のコース設定)</p>	<p>①原稿が準備できれば、いつでも開設できる、広報部会で決めれば実現可能だと思う。</p>
<p>(8)“いいねボタン”やコメント欄など、閲覧者の反応があれば、投稿意欲がもっとわくのでは？</p>	<p>①現行の日の里HPには、「いいねボタン」など評価につながる機能は準備されていない。(HP上の“いいねボタンの作成”や“結果の集計”などに費用が発生する)</p> <p>②仮に、“いいねボタン”があったとして、HPの投稿者は、地域住民、今後、投稿を始める新規投稿者を含め、一般的には投稿には不慣れ、評価は投稿者の意欲低下を招く恐れがある。また“評価結果”は、次なる処置対応につながらない、などの理由により、今現在、投稿に関する“評価”はしない、「日の里HP利用規定を順守する限り、自由に投稿して下さい」... が広報部会の基本姿勢</p>

7. 補足

項目	内容
(1) 一般的なHPと日の里HPの相違点	<p>①市町村や企業の一般的なHPの利用者は、行政サービスの受益者や企業の顧客、HP閲覧者の満足度(サービス)向上は“経営目標”。HPに必要な投資費用は潤沢</p> <p>②日の里HPは、市(行政)が認知した、日の里地区コミュニティの公式HP、協議会が所有HPの投稿者と閲覧者は共に住民。HPに必要な予算は限られる(費用対効果)</p> <p>③日の里HPの利用者の多くは地域住民、“まちづくり”の進展と共に、元気な地域社会の姿を域外へ発信し、そして域外から多くの閲覧者を迎えるのも、HPの役割と考える。</p>
(2) 日の里HPの外部からの訪問者	<p>①外部の訪問者は、日の里の何に期待して、HPを訪問するのか</p> <p>②我々住民は、日の里のどんな事を域外へ伝えたい(発信)のか、意見交換が必要</p>
(3) 日の里HPの抜本的な改善の時期	
<p>(4) ITを活用した新しいまちづくりモデルの構築とは</p> <p>* 日の里HPが開発当初から掲げた目標の一つ(日の里HPの歴史参照)</p> <p>* 現時点では、住民主体・地域主導の本格的な“住民参加型のまちづくり”を指す。</p> <p>成功事例は、殆ど存在しないと推察、全国の地域社会の共通課題の一つ</p>	<p>本格的な“住民参加型のまちづくり”の実現に必要な主な要素項目</p> <p>①“まちづくり”の目標、住民ニーズに基づく「まちづくり計画」の存在</p> <p>②住民参加型の組織基盤の存在とその組織運営の定着化</p> <p>③現役世代、子育て共働き家庭が“まちづくり”に参加できる環境</p> <p>④情報通信技術(ICT)の活用</p> <p>“まちづくり”を目的としたHPやソーシャルメディアの活用 市内外の協議会、大学、NPO、先進地域との連携 など</p> <p>⑤異なる価値観を許容できる、オープンな地域社会 など</p>